

## 鈴鹿市立天栄中学校 第6回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和7年3月14日（金）16:00～16:55

2 場所 天栄中学校被服室

3 開会挨拶（城ノ口委員長）

＊先週の卒業式、無事終えて良かった。コロナが明けて、マスクをとって歌を歌う子が増えた。指揮の姿もとてもよかった。式の終わりには、皆しんみりと三年間に思いを馳せる様子が見られ、中学校でいい時間を過ごしてきたことが窺えた。

4 各学年より

＊各学年担当者より、学年の生徒の近況やこの一年での成長について報告がなされた。

・一年部担当者より

入学して一年、あいさつがしっかりできる元気なところが素敵な学年という印象がある。春に実施した集団宿泊の経験を活かし、先日は炊き出し体験を実施した。春の頃の出組よりも、自分たちで考え、主体的に動くことができるようになってきたと感じた。これが彼らのいいところであり、その力をどのように伸ばしていくかが今後の教師の課題であると考えている。

・二年部担当者より

今年度、いじめの重大事案はなかったが、ひやかしや嫌なことと言われるといった内容の事案があったため、今後も気をつけていきたい。職業体験学習では、地域の事業所の方々にお世話になり、貴重な体験をさせていただいた。体験後の生徒の様子は、「こんな仕事がしたい！」「高校に進学したらここでバイトしたい！」など、仕事に対してのイメージがより鮮明になり、具体的な目標が出てきたように思う。3年生が卒業し、自分たちが最高学年になるため、もっとしっかりするようにと声かけをしている。2年生には、もっとリーダーにも挑戦し、もっと自分たちで動こうとする力つけてほしいと考えている。

・3年部担当者より

三年生のこの一年で大きく成長したように感じる。パワーあり、元気な子どもたちである。修学旅行では、新幹線に乗り遅れる予期せぬトラブルもあったが、動じずに対応する姿にはさすが三年生という安心感があった。体育祭でも、全力で取り組む姿勢で後輩たちに見本を見せることができたと思う。卒業式では、涙する姿も見られ、合唱の様子からも、最後は胸を張って卒業することができたと思う。県立後期選抜の結果はこれからだが、全員無事に進路を掴むことを祈っている。

5 協議事項

学校関係者評価について

＊主幹教諭より、第5回学校運営協議会で協議された学校関係者評価の資料が提示され、前回から改善を加えた箇所について説明がなされた。

＊学校長より、学校関係者評価を受け、以下の点について改めて課題として認識し、今後改善を図りたいとの報告がなされた。

○ピンクシャツ運動を地域にも発信し、共に取り組む方法を模索すること

○グループ学習では本当につながることができているのか、学びが深まっているのかを検証すること

○学年が上がると授業で発表できる生徒の割合が減ることについて検証すること

○HPは更新するだけでなく、閲覧数を上げるにはPRも必要であること

○非認知能力に関わるアンケート結果が、肯定的回答80%で「良し」でなく、100%を目

- 指すべきであること  
○障害のある人もない人も当たり前と一緒に過ごしていけるよう、インクルーシブ教育にますます力を注いでいくこと

## 6 委員の方より

\*各委員より、一年間の活動を通しての気づきや活動を終えての感想について報告がなされた。

- ・学校運営の力になれたのか、具体的にはっきりとはわからないが、我々が色々話し合うことで、先生方のネタになったらしい。一緒に学校について考え、近さを感じたい。保護者から意見をいただくことがあまりないため、この場で直接意見をいただいていたかった。
- ・天名のふれあい会館の横、徳田付近の工事でできる道路は、登校しやすく通学路にならないか。その場合は街灯や信号をつけるよう申請したいが、市からは道路ができてからでないと申請はできないとのことであった。引継ぎを忘れないように気をつけたい。
- ・メンバーとして意見を述べるには、もっと子どもたちを知っておきたい。幸い、天名地区では愛エンジェル隊の活動があるため、一部の子どもとは接する機会がある。もう少し中学生の実態を知る機会があれば参加したい。個人的には、一番基本であるあいさつをもっと大事にしたい。あいさつ運動ではあいさつをするが、そうではないときにあいさつができてないことは残念である。
- ・教職員と一般のサラリーマンとでは感覚がちがうように思う。小学校の校区統合の問題についても、このやり方で良いのか、危機管理は大丈夫なのか疑問に思う点がある。
- ・修学旅行で新幹線に遅れた件は大変なことであったが、それを結果オーライにもっていった三年生は、臨機応変に対応できる力が実践で身につき、一つ大きく成長できたのではないか。何でも考え次第で良い経験になる。
- ・先生方は頑張ってもらっていると感じる。しかし、事務処理も増えていると聞く。忙しい中、速く処理して帰りたいと思っているのではないか。負担が軽くなり、子どもたちと関わる時間が増える策があればよいと思う。
- ・学校運営協議会に参加し、通常の保護者の立場では知らなかったことを知ることができた。思っていた以上に子どもたちが生き生きしていると感じた。しかし、グループでは、そこに入っていけない子たちがやはり存在する。先生方には、そんな子どもたちのためにももうひと踏ん張り頑張してほしい。サマーキャンプに参加した子どもが、「シークレットサービス」を見つけ、ほめるということを学んできた。非認知能力を育むことにつながる取組を大切にしてほしい。

## 7 その他

令和7年度 学校運営協議会委員の委嘱について

※令和7年度 第1回学校運営協議会 5月初旬予定

\*学校長より、令和7年度の学校運営協議会委員の委嘱について説明がなされ、承諾を得た。

## <今後の行事予定>

\*主幹教諭より、今後の予定について報告がなされた。

- ・ 県立後期選抜合格発表 3 / 1 7 (月)
- ・ 小中連絡会 3 / 2 1 (金)
- ・ 修了式・離任式 3 / 2 5 (月)